

# 2019年度 上田市立塩尻小学校グランドデザイン

## 学校教育目標

思いやりのある子供  
(やさしさ)

じょうぶな子供  
(たくましさ)

よく考える子供  
(かしこさ)

最後までやりぬく子供  
(ねばり強さ)

### 「上田市教育大綱」

- 燦と輝く上田の  
未来を紡ぐ人づくり
- 確かな学力を養う
  - グローバルな能力を培う
  - ふるさと上田に学ぶ

### 《めざす子どもの姿》

- 人の気持ちが分かり、思いやりのある言動がとれる子供
- 生活リズムを整え、病気やケガに気をつけて生活できる子供
- 進んで学習に取り組み、自分の考えを表現しようとする子供
- 本気で取り組み、粘り強くやり抜く子供

### 学校運営方針

- これからの社会を担う、人間性豊かで社会の変化に対応できる子どもの育成をめざし、学校教育の充実に努める。
- 確かな学力「知」、豊かな心「徳」、健やかな体「体」が、バランスよく育つように教育実践を重ねる。

### 児童の実態

- 明るく挨拶できる子供が多い。異学年とも仲良く遊んだり、活動したりすることができる。
- 体を動かすことが好きな子供が多い。
- 意欲的に学習に取り組む子供が多いが、集中力・学習の定着に差が見られる。
- 自分で判断し行動すること。自分の考えを人前で発表することが苦手と感じている子供が多い。

### 保護者・地域の願い

- 元気よく挨拶する子供
- 友だちと仲良く遊ぶ子供
- 学習に進んで取り組む子供
- 地域の自然や伝統を大切にす  
る子供
- 地域の「ひと」「こと」「もの」  
を大切にす地域と共にある  
学校

## 本年度の重点目標

### 自分の『思い』や『考え』を深め、豊かに表現する力の育成

#### 支え合う学級づくり

- 挨拶の響く学校づくり
  - ・児童会の挨拶運動を中心に、地域の中でも進んで挨拶する子供を増やします。
- 自分と友達との違いや良さに気づき、よりよい関係を築こうとする態度の育成
  - ・力を合わせて取り組んだり、課題を解決したりする経験を増やせるよう、協働する活動場面や場づくりを進めます。
- 安心して生活できる学級・学校づくり
  - ・Q-U検査、児童アンケート等を実施し、児童の状況や実態を把握すると共に全職員で情報を共有し、連携して支援に当たります。
  - ・教育的配慮が必要な児童について、個別の指導計画の作成を進めます。

#### 学び合う授業づくり

- 学習の約束・きまりを守り、仲間と共に学習を深める姿勢の育成
  - ・はっきり話す、話し手を見て最後まで聞く姿勢を大切に指導します。
- 自主的・計画的に家庭学習に取り組む力の育成
  - ・「紡ぐ」を活用し、家庭学習習慣の定着を図り、発達段階に応じて自主学習に取り組めるよう指導・支援します。
- 子供たちが「できた」「分かった」と実感できる授業づくり
  - ・子供たちが自ら追究していくような学習のねらいや学習課題を設定します。
  - ・授業の終末に、ねらいにそった見返しや定着問題等を行う時間を設定します。

#### 高め合う活動づくり

- 体育的行事・音楽活動の充実
  - ・個に応じた適切なめあてを設定し目標に向けて取り組む姿勢を大切に育てます。
- 異学年との交流
  - ・交流の場を計画的に設定し、児童会が主体となって活動できるように指導・支援していきます。
  - ・縦割り清掃・なかよし給食・なかよし読書等、交流を深め、互いの成長を感じ合える場を設けます。
- 地域との学びの充実
  - ・地域資源（人材、題材等）を活かした学習の充実に努めます
  - ・発展的・継続的に学習が広がっていくように学習構想を工夫します。

### 2019年度 研究テーマ

「自分の『思い』や『考え』を深め、豊かに表現する力の育成」

研究の方向：子どもたちが、「できた」「分かった」と感じられる授業づくりを進めます。

- 授業づくり構想シートの活用と研修（授業を開き合い、学び合う）の充実

- 授業の3観点を意識した授業

子供たちが自ら追究していくようなねらいや学習課題の設定、考えを深めたり広げたりできる場面・時間の設定、学習の足跡が分かる板書、ねらいにそった見返し、定着問題の実施

- 授業のユニバーサルデザイン（UD）化の推進。ICT機器の活用